



県議会報告

2017年10月

討議資料

9月定例会は9月20日から10月6日まで開催され、補正予算など12議案が審議されました。私は、県民の目線で、緊迫した国際情勢や岩国基地問題について県の姿勢を質しました。その中から、主なやり取りをご報告します。



9月27日、午後の本会議で一般質問

質問

① 国、県、市、基地で構成される岩国日米協議会を早急に開催し、艦載機の移駐などに対応して、騒音軽減、事件・事故の防止などに関する確認事項の見直しを行うべきです。

答弁

① 県の事業目的や予算額を教えてください。

① 岩国日米協議会は、平成3年5月以降開催されていません。

質問

① ミサイル攻撃の危険がある場合には、国、県、市町は、国民保護計画により対応することになっていきますが、具体的な流れや市町との役割分担を教えてください。

答弁

② 避難所の指定基準、箇所数(県と岩国市)を教えてください。ミサイル攻撃を想定して、安全なシェルターの整備も検討すべきです。

① 県は、国による警報の発令を市町に伝達し、避難経路

北朝鮮の脅威への対応について

等の指示、住民避難の支援を行います。ミサイル攻撃の場合には、まずは屋内避難を基本とし、その後、状況に応じて、市内の避難所、さらに市外への広域的な避難も行います。

② 避難所として、県内で1,050箇所、岩国市で95箇所の公共施設等が指定されています。シェルターの整備については、地元の要望もありません。



のコメント

市の意向を尊重し適切に対応します。

② 新駅設置の目的は、錦川沿線の絶景ポイントへの観光客の誘致です。土日・祝日に運行される臨時列車専用の展望施設として使用され、30年度までの3年間で事業費は1億1,200万円です。

岩国基地の機能強化について

② 再編関連交付金を使って、錦川鉄道の南桑駅と根笠駅の間に新駅が建設されると聞きましたが、今後の開催を含め、確認事項の見直しが必要かどうかは、岩国

ミサイルと言えはJアラートばかりが宣伝されていますが、それは緊急対応であり、国民保護計画による本来の警報や避難誘導などについても、県民に広く周知を図るべきです。



B1とJアラート



のコメント

基地被害の拡大が心配され、1日も早く日米協議会を開催し、対策を協議すべきです。

新駅設置は税金の無駄遣いだという地元の声もあり、錦町駅にエレベーターを設置した方が喜ばれると思います。

質問

① 愛宕山のスポーツ施設に関する日米共同使用の範囲、その内、岩国市が管理する施設と区域、その維持管理費の見込み額と財源について教えてください。

① キュー施設などがある東側エリア全体です。その内、野球場は岩国市が管理し、本年度分の維持管理費として約2,800万円の補正予算が市議会に上程されて

国市、米側の三者で協議されています。



のコメント

すでに日米共同使用されている池子の森自然公園

愛宕山の米軍施設について

② 野球場を含む東側区域に対する日本の警察権の及ぶ範囲を教えてください。

② 警察権については、市民ができるだけ利用しやすいように、県警の意見も聞きながら、現在、国、岩

（豆字市）と同様に、事件・事故が発生した場合に日本の警察が担当することになれば、市民が安心してスポーツ施設を利用することはできません。

答弁

① 共同使用の範囲は、野球場やソフトボール場、バーベ

② 警察権については、市民ができるだけ利用しやすいように、県警の意見も聞きながら、現在、国、岩

質問

① やまぐち高齢者プランの柱の一つである地域包括ケアシステムの進展状況と課題を教えてください。

① やまぐち高齢者プランの柱の一つである地域包括ケアシステムの進展状況と課題を教えてください。



のコメント

普及啓発や情報提供、人材育成等の支援を行います。

地域包括ケアシステムについて

② 誰が主体となり、地域包括ケアシステムの構築を進めるのか、また県の役割はどこにあるのですか。

② このシステムは、日常の生活圏域を踏まえ、地域の特性に応じて構築されるものであり、主体は市町村です。県は、システムの

私も親の介護をしています。ですが、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスと切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の整備、充実が望まれます。

答弁

① 地域の包括支援センターの設

② このシステムは、日常の生活圏域を踏まえ、地域の特性に応じて構築されるものであり、主体は市町村です。県は、システムの

私も親の介護をしています。ですが、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスと切れ目なく提供する「地域包括ケアシステム」の整備、充実が望まれます。

知事、2期目への出馬表明

本会議の代表質問で、知事は来年1月に行われる知事選挙（2期目）への出馬表明をしました。国の役人であった現知事の目線はいつも中央（国）の方向に向けられていて、この3年半の間、県民目線で県政が行われていると感じることができなかったことは、とても残念なことです。

解散で 気もそぞろ

9月28日に衆議院が解散され、それぞれ候補者を抱える政党の議員は、選挙の準備に追われ県議会どころではないというのが本音のようで、記者たちが忙しそうに取材に歩き、今議会は 何とも落ち着かない議会となりました。



9月県議会を傍聴した。私の議会傍聴歴は、井原議員一期目の後半からである。当初はまじめに傍聴していたが、回を重ねる毎に行政のいい加減な答弁、国寄りの姿勢に一々腹を立てていた。しかし、最近八十路を迎えたせいあまり気にならなくなった。しかし、今回の傍聴で、答弁者の程度の低さというか不勉強さというか、まったくあきれた答弁があった。その内容は、井原議員の質問で、関東地方の池子米

軍住宅と愛宕山の野球場などの施設の取り扱いの違いについての確認であったが、答弁者は登壇後、「確認していません」の一言。それも、たったの30秒であった。議員からの質問書は、議会開会前に提出されているであろう。事前に内容分析、諸々の調査等の時間は十分にあると思われる。果たして、行政側は努力しているのだろうか。この一事をもって、県政を批判するつもりはないが、盛岡信男

井原すがこ後援会のHPアドレス変更 http://sugako31.sakura.ne.jp/